



〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100

# 議会だより

第76号

令和3年1月発行

編集：議会広報委員会

発行：大和村議会

☎ 0997-57-2216(直)

FAX 0997-57-2967



本番さながらの訓練（自衛隊との合同訓練）

## 主な内容

一般質問（5人） .....	2～6
令和元年度決算を認定 .....	7
令和元年度 決算審査委員長報告 .....	8～9
第3回定例会 .....	10～11
議会の動き・編集後記 .....	12

# 第3回 定例会 一般質問

## 5議員が村政を問う!!

港湾埋め立て地は  
草ぼうぼう！

港湾埋め立て地内の空  
き地が、草が生えた状  
態である。管理はどの  
ようになっているのか。

(答弁) 総務課が管理し  
ており、草刈りについて  
は総務課で対応したい。  
芝生の植栽については今  
後検討したい。



重 信 安 男 議員

村有地の港湾埋め立て  
地の今後の進展につい  
て。

(答弁) 事業計画に基づ  
き、公営住宅、集落公民  
館などの整備を行った。  
今後については集落から  
さまざまな要望が上がっ  
ている。集落の要望に添  
った形で、村の振興発展  
につなげていきたい。

公園に花がいっぱい！

集落内の公園管理に対  
して、村が助成して花  
などを植えることはで  
きないか。

(答弁) 集落によっては  
使われていない公園もあ  
る。集落がどういう形で  
活用したいのか、意見を  
集約しそれに基づき検討  
を行いたい。



草が伸びた状態の埋立地



空き地となった公園



市 田 実 孝 議員

## 避難場所の公民館が心配なんです！

思勝公民館裏手に山が迫り大雨や台風・地震時において、山崩れの不安があり急傾斜地崩壊対策などの事業の導入などで対応検討できないか？

(答弁) 土砂災害特別警戒区域に指定されていることから、現地の状況を確認し、県とも事業の導入が可能か協議し集落の

意見を聞いたうえで事業導入を進めて行く。集落民の意見を伺い、県と事業の導入が可能かどうか検討する。

思勝公民館裏手の高台に、津波等の避難場所として整備できないか？

(答弁) 村においては現在進めている、各集落公民館における機能向上を最優先としており、高台への避難場所については、他の集落も含めて検討する。

## 親子で楽しめる公園を増やして！

子育て世代が安心して楽しめる施設や公園の整備には、子育て支援担当者などの関係者の意見を取り入れながら実施整備しているのか？

(答弁) 現在、公園整備にあたっては、観光客や

幅広い世代を対象とした整備をしており、今後は若い子育て世代・子育て支援担当部局からの意見も取り入れながら事業を進める。

村内で子育て世代が安心して楽しめる施設や公園は少ない状況にあり、今後ますます整備が必要だと思いが、施

設や公園の整備計画はなされているのか？

(答弁) 第二期子育て支援事業計画策定の保護者アンケートの中でも「子供連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」との意見が半数を占めておりその意見を踏まえながら今後とも子育ての環境整備に努める。



落石があり危険な急傾斜地



家族でふれあえる公園



勝山浩平 議員

## 台風が来るたび心配なんですけどあの家！

各集落に存在する廃屋は時間の経過とともに更に老朽化し危険度を増していくが集落と連携を図り撤去するなど空き家対策を推進していくべきではないか？

(答弁) 所有者が適正な管理を行うことが原則。まずは集落から所有者に

働きかけをお願いしたい。一方で、危険性を感じるとの第三者からの意見も聞いているので、村としても早急に対応策を考えていきたい。集落の取り組みに対しては、瓦礫の処理費など何らかの助成は考えていく。

撤去費用の補助などを盛り込んだ、空き家対策条例を制定するべきではないか？



浮き魚礁設置で漁業推進を

(答弁) 自費で撤去している方との公平性を考え、条例以外で、集落と所有者で協議、処置してもらい、集落に対してどのような協力ができるのか考えていきたい。

## 漁業者に愛の手を 漁場を確保してくれ

経営の安定や観光漁業推進を図るために浮き魚礁を設置するべきではないか？

(答弁) 地元漁業者との十分な協議のうえで、効果の高い、村内のより多くの漁業関係者が利用できる魚礁の設置に向けて取り組んでいく。

## 墓守も後継者不足 ちば！

墓の継承者難などを背景に全国でも公営の施設整備の働きが広がっており本村においても墓の維持管理を不安視する声があるが、村営の合葬墓地整備に向けた検討を進めるべきではないか？

(答弁) まずは、集落区長を通して調査を進める。

ワキヤ島や、ワキヤ  
手いし興そ！

地域興しを図ろうと自  
主的・自律的な活動を  
行う団体の提案に対し、  
交付金や補助金として  
支援することができな  
いか。

(答弁) 提案された規格  
の特色や実施内容、規模  
などを見て、個別に企画  
団体と協議しながら検討  
したい。



何とかならんかい？  
「ひらとみ」で

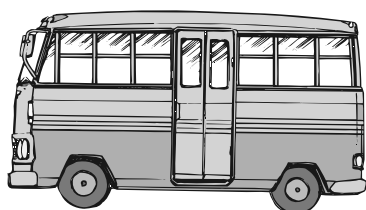
合同会社「ひらとみ」  
において、農機具修理  
のできる人材の配置や、  
移動スーパの運営な  
ど検討できないか？

(答弁) 農機具修理につ  
いては、現在JAとの連  
携で対応していることの  
周知を図っていく。  
移動スーパについては、  
村内商店をはじめとする



前田清和 議員

民業を圧迫する可能性が  
あるため現在構想はない。  
買い物支援については  
「診療所バス」や「ご近  
所サポート制度」を活用  
した形で考えていく。



高齢者に優しい道  
路整備を！

集落内の道路について  
高齢者が安心して通行  
できるように整備でき  
ないか？

(答弁) 名音で今年度か  
ら大棚で来年度から、通  
学路や生活道路の安全対  
策で、排水対策及びカラー  
舗装工事に取り組んでい  
く。他集落においても現  
地を確認しながら事業導  
入を検討する。



農機具修理を「ひらとみ」で



## 「コロナ禍」明け るまでどうかし！

島人限定8割引きキャンペーンが終了と同時に、客足が止まっております、事業所独自で、島外への誘致対策が取りづらい現状にあるが、再度支援策を講じるべきではないか。

(答弁) 現在奄美大島5市町村で、大島本島在住者を限定に大島全体を対象にしたキャンペーンを検討している。また、大



蔵 正 議員

和村まるごと体験協議会からも本村独自の新たなキャンペーンの提案も受けており、実施に向けて動いている。

## 猪キャシカナラン カイ？

多くの農業者がイノシシ被害に悩まされており、これまでに再三にわたって対策について進言しているが、実行しないのはなぜ？

(答弁) これまで、地区



台風時に押し寄せた海砂

別に年度を分けて侵入防止策の設置について事業を導入し実施している。  
(通告書で質問の詳細を欠いたことを謝罪し) 今回の質問は、事業で侵入防止策を設置したにもかかわらず、被害にあっている農家について聞いている。資材

助成事業を増額して広報し実施できないか。

(答弁) 年度途中の変更は難しいが、来年度予算編成時に協議したい。

## スーパー台風との 戦い！

国直海岸の越波対策(堆積した砂を掻き戻し堤防機能を復活させる)として台風接近前の事前調査をマニュアル化するべきではないか。

(答弁) 国直海岸及びその他海岸についても台風前の目視調査及び事前の対策を今後は取っていく。

# 議会を傍聴しましょう

議会の定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)行われます。 お問い合わせ先 **☎57-2216** (直通)

# 令和元年度決算を認定

令和元年度一般会計及び各特別会計決算は、決算審査特別委員会に付託され、最終本会議で決算審査委員長報告（８面に記載）があり、採決の結果、８会計の全てが認定されました。

なお、各会計の決算状況は次のとおりであり、決算委員会では各種滞納額や各課における成果等について質疑がなされました。

## 令和元年度の各会計決算

会 計 名	歳 入 総 額 (A)	歳 出 総 額 (B)	差 引 額 (A－B)
一 般 会 計	3 2 億 6 8 2 9 万 7 千 円	3 1 億 6 1 1 0 万 2 千 円	1 億 3 1 5 万 2 千 円
(各特別会計)			
簡易水道事業	7 3 6 0 万 6 千 円	7 2 4 5 万 2 千 円	2 7 5 万 2 千 円
国民健康保険	2 億 1 7 7 5 万 6 千 円	2 億 1 2 1 0 万 6 千 円	3 6 0 万 2 千 円
大 和 診 療 所	9 2 1 5 万 3 千 円	8 2 5 4 万 5 千 円	8 8 0 万 8 千 円
介 護 保 険	2 億 7 2 1 0 万 1 千 円	2 億 5 5 0 8 万 6 千 円	4 7 5 万 4 千 円
集落排水事業	1 億 9 0 6 4 万 3 千 円	1 億 8 9 8 1 万 円	5 2 0 万 6 千 円
大 和 の 園	1 億 8 4 8 1 万 6 千 円	1 億 7 2 6 0 万 8 千 円	5 8 4 万 1 千 円
後期高齢者医療	2 6 2 5 万 9 千 円	2 5 8 4 万 2 千 円	2 7 6 万 7 千 円
合 計	4 3 億 2 5 6 3 万 1 千 円	4 1 億 7 1 5 5 万 1 千 円	1 億 6 4 8 8 万 4 千 円

※（差引額は令和元年度予算へ繰越）

## 過去 7 年間の滞納額推移（未納額）

（単位：万円）

種別 年度	村 民 税	固定資産税	住宅使用料	国民健康 保 険 税	そ の 他 (水道料・ 介護保険料等)	滞納額合計 (一般・特別 会計の合計)
2 5	1 1 3	2 9 9	1, 0 9 6	8 0 7	1 8 6	2, 4 6 5
2 6	5 5	1 5 9	9 7 3	7 4 4	1 7 6	2, 1 0 7
2 7	5 8	9 4	1, 1 1 7	6 6 9	1 9 5	2, 1 3 3
2 8	7 1	9 5	1, 0 9 5	5 6 1	2 0 1	2, 0 3 3
2 8	4 2	6 1	1, 0 4 5	4 5 7	2 0 4	1, 8 0 9
3 0	2 0	5 9	1, 0 7 8	4 4 7	2 2 9	1, 8 3 3
元年	1 6	6 1	1, 1 2 6	3 0 1	1 8 0	1, 6 8 4
前年度の 比較	4 万円減	2 万円増	48万円増	146万円減	49万円減	149万円減

- 3 0 年度と元年度を比較すると住宅使用料の滞納額が突出しています。住宅利用者の不公平感をなくすためにも引き続き村民の協力が得られるよう努力していただきたい。

# 令和元年度 決算審査委員長報告

令和元年度

決算審査特別委員会

委員長 前田 清和

決算審査特別委員会に付託を受けました、認定第1号、令和元年度大和村一般会計歳入歳出決算認定及び、認定第2号から認定第8号までの令和元年度各特別会計歳入歳出決算認定の審査を3日間の日程で行いました。9月17日の事業箇所の現地調査から始まり、9月23日及び24日の審査においては、初めての試みとして各課ごとの審査をおこないました。今後検証

し改善していきたいと思えます。提出された決算書や主要施策成果表及び監査委員の意見書などをもとに、詳細に審査を行い、本委員会に付託された8件の決算をいずれも認定すべきものと決定いたしました。審査の過程での主な内容を報告いたします。

総務課については、住宅使用料の滞納について、住宅以外の滞納もあるかもしれない、村民である以上相手に寄り添った対応をしてほしいとの質疑があり、再三面談を行い子どもたちにも応援をしてもらうよう話をしたとの答弁でした。関連して徴収職員の配置について質疑があり、再任用職員を配置し、臨戸訪問、法的手段の調査等を専門におこなっているとの答弁がありました。次に台風による避難場所について、分校のトイレの改修、発電機の設置等について質疑があり、発電機10基購入予定とトイレ改修についても対応をおこなうとの答弁でした。

次に企画観光課については、廃止路線バス代替運行委託について、5、000万あまりの委託料が支払われており、国・県の補助等の見込みは無いのか、また今後の見通しはとの質疑があり、現在実証実験3年の内の2年目に当たり、県からの補助金は満額で664万円ありますが、平均乗車密度1.0以上等の様々条件が必要となるとのことでした。今後は事業者にも早く4条申請を取得してもらい、併せて5年間は事業の継続をお願い



決算委員会



したいとの答弁がありました。

次に住民税務課について、海岸漂着ゴミに対するゴミステーションの設置が集落に出来ないかと質疑があり、年に1回は各集落住民に協力頂き作業を行っており、また、ボランティア等で作業を行っている方もおられるとお聞きしますので、今後は集落とも話し合いをし、設置が可能なのかも含め検討していきたいとの答弁がありました。

齢者が増加することから

今後とも事業の推進を図

り、併せて介護手当につ

いて、現金給付以外の支

給についても何か出来な

いものか検討していきたい

との答弁がありました。

次に産業振興課につい

て、農林漁業者奨学金研

究研修助成基金の活用につ

いての質疑があり、漁

業研修にも活用出来ない

かとありました。現在の

ところは農業研修に対し

ての助成を行っておりま

すが、今後、漁業者がグ

ループ研修等で活用出来

るのか検討していきたい

との答弁がありました。

次に建設課について、

災害復旧整備を含め県道、

村道の管理を徹底すべき

ではと質疑がありました。

大雨などが降りますと、

道路の側溝から土砂があ

ふれでることがあり危険

をもたらす可能性もあり

ますので、今後は定期的

に点検を行い、土砂を取

り除くようにしていきたい

との答弁でした。

次に教育委員会につい

て、通学路の安全性につ

いての質疑があり、ブロッ

ク塀等の危険箇所に対応

策については、学校のブ

ロックは高さを切断して

安全確保に努めた。また、

集落内の通学路での危険

な箇所については、通学

路を変更する等の対応し

たとの答弁がありました。

次に、各特別会計の決算

状況については、本年度

も全体的に見ても黒字決

算であり健全な財政運営

が行われていることは、

大変喜ばしいことであり

ます。

簡易水道において、戸

円、名音の浄水場のあり

方について信頼を得るた

めの説明が必要ではない

かとの質疑に、防護柵等

を設置し、集落の代表に

見てもらおう計画をしてい

るとの答弁でした。

次に国民健康保険にお

いて、人間ドックの助成

について質疑があり、国

保加入者に対し、助成を

しており村民への周知も

おこなっているとの答弁

でした。

最後に、当委員会では、

委員長の報告と併せて、

議会の意見を取りまとめ  
ていますので、意見とし  
て取り上げていただくよ  
う申し上げ、令和元年度  
決算審査特別委員会の委  
員長報告を終わります。



# 第3回 定例会

令和2年第3回（9月）定例会が9月16日～9月28日（13日間）まで開かれ、令和元年度一般会計及び各特別会計の決算認定をはじめ、令和2年度補正予算や人事案件等の議案が審議され、すべての議案が可決されました。  
可決された議案は、次のとおりです。

## 決算認定

令和元年度一般会計及び各特別会計決算の審査は、決算審査特別委員会（委員長 前田清和）に付託され、3日間にわたる慎重な審査を経て、8会計決算で全会一致で認定されました。

（※ 決算認定関係は8面～9面に記載）

## 予算

### ●令和2年度 一般会計 補正予算（第4号補正）

補正額

3億4084万2千円

増額

予算総額

37億8194万4千円

（補正内容）歳入においては、地方交付税、河川

等災害復旧費国庫負担金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び前年度決算に伴う繰越金などが増額され、歳出においては、財政調整基金への積み立てをはじめ、地方創生臨時交付金事業、津名久公民館前観覧席改修工事、災害復旧費等を予算計上しました。

主な補正は次のとおりとなっています。

（歳入）

○地方交付税（普通交付税）

9880万3千円増

○国庫負担金（河川等災害復旧事業）

9029万2千円増

○国庫補助金（新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金）

9760万7千円増

○繰越金

4746万2千円増

（歳出）

○財政管理費（財政調整基金積立金）

5100万円増

○総務費（地方創生臨時交付金事業）

1億26万2千円増

○民生費（放課後児童クラブ、地域型保育給付費）

432万7千円増

○土木費（道路維持費・津名久）

1500万円増

○災害復旧費（公共土木施設）

1億3580万1千円増

### ●令和2年度 簡易水道 事業特別会計補正予算（第2号補正）

補正額

445万4千円 増額

予算総額

7251万4千円

（補正内容）歳入においては、一般会計繰入金及び前年度決算に伴う繰越金が増額され、歳出においては、各浄水場の場内整備及び水源かん養ミニダムの土砂除去に伴う増額を行いました。

### ●令和2年度 国民健康 保険特別会計補正予算（第2号補正）

補正額

490万4千円 増額

予算総額

2億2898万3千円

（補正内容）歳入においては、国民健康保険税の減額及び前年度決算に伴う繰越金が増額され、歳出においては、一般被保

除者療養給付費及び特別調整交付金が増額され、大和診療所操出金が減額されました。

補正額

1701万4千円 増額

予算総額

2億9730万6千円

●令和2年度 大和診療所特別会計補正予算（第1号補正）

（補正内容）歳入において、前年度決算に伴う繰越金が増額されました。

歳出においては、居宅介護サービス給付費の減額、介護給付費準備基金積立金の増額、また事業実績に伴う償還金の増額を行いました。

補正額

379万9千円 増額

予算総額

8970万4千円

（補正内容）歳入においては、一般会計繰入金及び特別調整交付金の減額及び前年度決算に伴う繰越金が増額されました。

歳出においては、往診車両購入費等の増額を行いました。

●令和2年度 介護保険特別会計補正予算（第2号補正）

（補正内容）歳入において、農業集落排水事業

交付金の増額、また一般会計繰入金を減額しました。歳出においては供用開始に伴う排水設備設置費助成金の増額を行いました。

交付金の増額、また一般会計繰入金を減額しました。歳出においては供用開始に伴う排水設備設置費助成金の増額を行いました。

（補正内容）歳入においては、前年度決算に伴う繰越金の増額、また基金繰入金が増額されました。

歳出においては、医療機材購入に伴い一般管理費及び基金積立金の増額を行いました。

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

●令和2年度 大和の園特別会計補正予算（第2号補正）

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

（補正内容）歳入においては、繰入金の減額、また前年度決算に伴う繰越金が増額されました。歳出においては保険料還付金の増額行いました。

●令和2年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号補正）

住所 大和村思勝

366番地1

氏名 屋井智昭氏

補正額

5万円 増額

予算総額

2962万5千円

推薦

●大和村人権擁護委員候補者の推薦について

大和村人権擁護委員の任期満了に伴い、次の方が推薦されました。

住所 大和村大和浜

94番地イ

氏名 森千賀子氏

同意

●大和村教育委員会委員の任命について

大和村教育委員会委員の任期満了に伴い、起立採決の結果、全会一致で同意されました。（再任）

その他（議員発議）

●新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について（全会一致で可決）

## 議会の動き

【8月】

- 6日 広報委員会（防災センター3階会議室・委員）
- 15日 大和村戦没者追悼式（村体育館・議員）
- 29日 ひらとみ祭りさとうきび豊作祈願祭（思勝・議長）

【9月】

- 4日 議会運営委員会（防災センター3階会議室・委員）
- 13日 全員協議会（防災センター3階会議室・議員）
- 16日 大和中学校体育祭（大和校・議員）
- 17日 第3回大和村議会定例会（開会）
- 17日 決算審査特別委員会（現地調査）
- 18日 定例会（一般質問）5名
- 20日 小学校運動会（各小学校・議員）
- 23日 決算審査特別委員会（一般会計・特別会計）
- 24日 決算審査特別委員会（一般会計・特別会計）
- 28日 定例会・最終本会議（閉会）
- グレイ美術による観光施設計画説明（防災センター3階会議室・議員）

【10月】

- 14日 大島本島南部議会連絡会（宇検村・正副議長）
- 20日 常任委員長研修会（鹿児島市・委員長）
- 22日 広報委員会（防災センター3階会議室・委員）
- 31日 立地協定式全員協議会（村体育館・議員）

## 編集後記

今年、発生した新型コロナウイルスは、社会全体に甚大な影響を及ぼしており、未だ終息が見えず、今後第2波、第3波が予想され予断を許さない状況にあります。

ような状況下でも可能な取り組みを模索する契機とし、これからも一人ひとりが出来ることを着実に、一日も早い終息と新たな未来を迎えられるようお願いです。

コロナウイルスの影響は、日常生活はじめ、教育や医療全ての分野に及び行政や議会活動の分野にも及んでいます。議会の研修や各種会合などの開催中止や延期が繰り返されています。こうした中、今回の問題を機に遠隔授業やテレワークなど、

皆様方によりは、村民の皆様方にわかりやすく記載したいと考えております。ご不明な点、ご意見などありましたら、ご連絡下さいますようお願いいたします。

（前田清和）

平時には取り組めないことを各所試行錯誤しながら実施されています。感染症拡大を悲観的だけに捉えるのではなく、どの

広報委員長 藏 正

広報委員 重信 安男

〃 前田 清和

〃 市田 実孝